

つら

TAKUSUI
No. 705

7

July. 2015

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌

大輪田塾10周年記念式典



大輪田塾10周年記念式典 (神戸市)

大輪田塾10周年記念式典 開催 各団体の総会 終わる

《今月の海上安全標語》～ 進歩してます!～

分厚いから薄く、重いから軽い、動きにくいから動きやすいへ…

ライフジャケットは年々改良が進み、進歩していますよ。もしもの時のため是非着用を!!

日々進歩 着やすい^{ライジャケ}J 是非つけて! では、今月も安全操業で!

ようこそ

「ずっと真っ直ぐに」

(ようこそとは航海用語で「宜しく候の意。主に船を直進させるときの号令として使われる)

半世紀の反省記

兵庫県農政環境部農林水産局水産課 副課長 長島 浩



この世に生を受けて半世紀が過ぎました。若かりし頃は、趣味を聞かれるとテニス、スキー、ダイビングなどと答えたりしておりましたが、何一つ極めることもなくフエードアウトしてしまっていることに、いたく反省する限りです。話題にできるような真っ直ぐな心で取り組んでいる趣味がないにもかかわらず、この寄稿を引き受けてしまったことにさらに反省。

はてさて何を綴ろうか…、と夜も眠れず考えて、唯一15年以上続けているバンコク視察研修(?)で見えてきた、タイの水産事情を紹介させていただきます。

「タイで魚なんて食べるの?」と思われるかもしれませんが、バンコクは意外と海が近く、漁港や市場を見に行くと、タチウオ、マナガツオ、キス、アサリ、カキなどが、まき網かと思われる漁船で小さな水揚げされています。漁法は定かではありませんが、街中にはシーフード料理の店もたくさんあり、エビを使ったトムヤムクンが有名ですが、魚の煮付けのようなものや、変わったところでは浮き袋を素揚げしたようなものもあり、また、タイスキ(寄せ鍋のようなもの)の具材として、エビ、イカの他に魚のすり身もよく食べられています。

タイは基本的に親日の国で、日本から持ち込まれたであろうと思われる物やシステムをたくさん目にする事ができますが、回転寿司のシステムを使ったタイスキ屋があり、寿司の代わりに鍋の具材が回っていたりします。また、日本食レストランもたくさんあり、ハタハタの一夜干し、ホタルイカの沖漬けやイカの塩辛などを食べることができ居酒屋もあります。日本人向けではないようですが、コンビニでは、油で揚げたノリ(原料は中国産の安い物かと思われる)にいろいろな味付けをしてスナック菓子として売られています。(どこかにビジネスチャンスがあるのかも)

と、15年以上視察してきたにもかかわらず、何も仕事に活かせていないことに反省。はたまた、タイ語が全く話せない、聞き取れないことにも大いに反省。



この先何年視察を続けることができるかわかりませんが、ようこそならぬ、よろよろ、な寄稿に反省しつつ閉じさせていただきます。

CONTENTS

No.705 July. 2015

- 2 ようこそ
- 3 2団体総会開催 (JF兵庫信漁連・共済組合)
- 4 兵庫県JF共済推進本部通常総会 開催
兵庫県漁業信用基金協会通常総会 開催
(一財)兵庫県水産振興基金 役員選任
- 5 播磨地区漁協女性部連合会通常総会・研修会
但馬地区漁協女性部連合会通常総会・研修会
- 6 (一社)播磨漁友会通常総会 開催
兵庫県機船底曳網漁業協会通常総会 開催
- 7 淡路漁協職員協議会通常総会 開催
播磨地区漁協職員協議会通常総会 開催
県立水産技術センター見学会・研究発表会のご案内
- 8 大輪田塾10周年記念式典を開催
- 9 摂津播磨地区漁協青壮年部連合会 視察研修会を開催
サワラ稚魚の育成現場を視察
- 10 第40回 兵庫県漁民物故者合同供養祭開催
シートクラブに淡路の生シラスが登場!
「西播磨フードセレクション 2015」開催! 参加食品募集中!!
- 11 大輪田塾だより
- 12 海の事故ゼロキャンペーン
海難事故をなくそう
- 13 兵庫JCC通信
- 14 旬に想う
大輪田塾 第11期生 募集



表紙の言葉

「大輪田塾10周年」(神戸市)

将来の漁業を担う人材育成を目指す大輪田塾は、平成17年10月に開講し、この秋で10年を迎えます。7月4日(土)には大輪田塾10周年記念式典が行われ、塾の修了生・在塾生ほか、県・系統団体から多くの方々が集まり、これまでの塾の足跡を振り返るとともに、今後の活躍を誓いました。写真は、県内各地から式典に駆け付けた大輪田塾修了生と在塾生です。

修了生が一室に会する場はこれまでなかったため、懇親会では初対面同士が挨拶を交わす光景が会場のあちらこちらで見られました。

この日、大輪田塾OB会が設立され、これからは在塾時はもちろん、修了後も同期の仲間との交流に加えて、修了生同士のさらなる繋がりが生まれ、大輪田塾とともに地域漁業の発展に寄与することが期待されています。

平成27年度 2団体総会が開催される



JF兵庫信漁連・ 兵庫県漁業共済組合

両団体から上程された議案はすべて承認されました。

JF兵庫信漁連

挨拶に立った山田会長は、平成26年度の事業実績として、「県内の水揚状況が全体として好調であったため、貯金残高については目標を大きく上回る694億円となった。融資残高につい

JF兵庫信漁連、兵庫県漁業共済組合の2団体による合同総会が、6月26日(金) 明石市内のホテルにて開催され、JF組合長はじめ県・系統団体の関係者などあわせて約80名が出席しました。

この後、主催者挨拶、来賓の方々の挨拶の後、2団体総会の共通議長にJF室津浦連 勝也組合長が選任され、



JF兵庫信漁連 山田代表理事会長

ては、設備投資が難しい状況の中ではあるが、省エネ機器等導入推進事業により漁業近代化資金については前年比2億円の増加となった。収支状況については、利ざや確保が難しいなか、例年並みの実績を残すことができた。」と会員各位に対し謝辞を述べた後、平成27年度の事業計画については「中期経営計画の初年度として『浜の暮らしを守る信頼の金融』の実現をめざし、積極的に取組んでいきたい。また内部管理体制の確保を図るため、引き続き店舗機能の再構築をすすめ、広域化については和歌山県信漁連との統合に向けた検討を進めていくので、ご理解を賜りたい。」と話され、本年度については、昨年度を上回る実績となるよう鋭意取り組んでいくと挨拶されました。

兵庫県漁業共済組合

川越組合長は挨拶で、まず、平成26年度は共済組合が創設されて50周年という大きな節目を迎えられたことにお礼を述べ、また「しっかりと加入で安心経営」を標榜とした新全国運動の初年度として加入推進に取り組んだところ、加入計画及び前年を上回る実績を上げることが出来たのは、制度内容への理解が深められたことや県・市町か



兵庫県漁業共済組合 川越組合長理事

らの掛金助成等の効果が十分に発揮された結果だと謝意を表されました。そして、今後も「ぎよさい」の普遍化を図り、漁業経営の安定に取り組んでいきたいと述べられました。

議事には、平成26年度の事業報告をはじめ、平成27年度事業計画等の5議案が上程されました。

事業報告では、平成26年度の加入実績は228億円で、前年実績に比べ5億円上回る結果となり、支払関係では、県内の漁業が概ね順調であったため、前年度より約7億円減少した5億円の支払となっており、事業収支・管理収支の総合では1億円の黒字を計上できることとなったことが報告されました。

平成27年度兵庫県JF共済 推進本部通常総会開催

兵庫県JF共済推進本部
(共水連兵庫県事務所)

6月18日(木) 明石市内のホテルにおいて、兵庫県JF共済推進本部の平成27年度通常総会が開催されました。

開会に先立ち、戎本 裕明本部長(JF明石連)が挨拶を行い、「厳しい漁業情勢の中、1年間推進活動にご尽力賜りました漁協役職員の皆様に深く感謝します」と述べた後、「平成26年度は3か年計画の初年度として、主幹共済であるチヨコーの保有契約の減少に歯止めをかけることを第一義に位置付けて推進活動を行った結果、僅かではありますが、保有契約の減少に歯止めをかけることができました」と情勢報告を行いました。

引き続き、来賓として県水産課 小林課長、共水連本所宮澤常務、共栄火災山口神戸支店長が順次祝辞を述べた後、戎本本部長が議長となって提出議案の審議に入りました。

「第1号議案 平成26年度活動報告について」、「第2号議案 平成27年度活動計画について」の2議案が審議され、原案どおり全会一致で可決されました。

又、報告事項として、共水連増資計画の現況について磯田所長が説明し、



「本県において3か年の増資計画期間が満了し、みごと達成することができました。これも会員の皆様のご理解と、ご協力の賜物です。心より感謝します」と述べました。

最後に、山田副本部長が「漁業者への保障提供を念頭において、更なる普及拡大のために運営委員が一丸となって努力いたします」と挨拶を述べて総会は閉会しました。

平成27年度 通常総会を開催

兵庫県漁業信用基金協会



兵庫県漁業信用基金協会は、6月18日(木)に明石市内のホテルにおいて平成27年度通常総会を開催しました。

会員並びに関係団体より多数の出席をいただき、無事全ての議案が可決決定されました。

今後も漁業者の負託に応えるため、より一層の努力をしてまいり所存です。ので、会員の皆様の格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

山田隆義理事長 再選される

(一財) 兵庫県水産振興基金

一般財団法人 兵庫県水産振興基金では、6月15日(月)の評議員会において12人の理事・監事が選任されました。6月18日(木)の理事会では互選により、理事長、副理事長、専務理事が決まりました。新役員は次のとおりです。

【理事長】山田 隆義(JF神戸市) 【副理事長】東根 壽(JF淡路島岩屋) 【専務理事】戸田 氏認 【理事】小林 孝司(県水産課長)、松本 力(JF高砂)、中村 利公(JF家島)、中川 照央(JF室津)、竹岡 千尋(JF洲本炬口)、森 義政(JF森)、田中 孝(JF富島)、前田 若男(JF福良)、眞野 豊(JF但馬) 【監事】糸谷安一(JF兵庫)、中田 勝(JF津名) (順不同・敬称略)

平成27年度 播磨地区漁協女性部連合会通常総会・研修会

播磨地区漁協女性部連合会



笑福亭瓶太氏の講演



退任に伴い花束を受け取る本多会長

播磨地区漁協女性部連合会は、6月17日(水)、兵庫県立水産技術センターにて、10会員のうち、10会員(うち2委任状)52名と(一社)播磨漁友会上仁会長はじめ来賓12名の出席のもと平成27年度通常総会を開催しました。

総会は、本多 春代会長(JF室津)の挨拶、井上漁友会会長はじめ来賓紹介に続いて、議事に入りました。平成26年度事業報告、収支決算、同27年度事業計画・収支予算が承認されました。続く役員改選では、7期14年務められた本多会長が退任されることとなり、「これから女性部を見守る一員として新会長に引き継ぎたい」と挨拶しました。互選により就任した井上千鶴会長(JF岩見)は「新役員とともにできることから始めたい」と挨拶されました。なお、会長以外の新役員は次のとおりです。

副会長…高橋美佐子(JF東二見)
池田砂織(JF坊勢)
理事…戎井かをる(JF明石浦)
山本百合子(JF西二見)
草部俊美(JF播磨町)
高木友子(JF室津)
監事…隅谷有子(JF林崎)
福田いつ子(JF伊保)

(敬称略、順不同)

総会終了後、笑福亭瓶太氏を講師に迎え、「人がいるから笑いがある」をテーマに、日々慌ただしく過ごす毎日を、少しでも笑いに変えることで楽しく明るく過ごせるという内容を講演いただき、会場はテーマどおり笑顔に包まれていました。

平成27年度 但馬地区漁協女性部連合会通常総会・研修会

但馬地区漁協女性部連合会

6月23日(火)、JF但馬 柴山支所にて、但馬地区漁協女性部連合会通常総会が会員39名と県但馬水産事務所 高木 英男所長、JF但馬 眞野 豊組合長、JF浜坂 川越一男組合長をはじめ10名の来賓の出席のもと開催されました。

平成26年度事業報告、収支決算並びに平成27年事業計画、収支予算の各議案が承認されたのち、任期満了に伴う役員改選が行われ、新たに選任された村瀬 季代子会長は「特に子供の世代への魚食普及活動に率先して取り組んで行きたい」と挨拶されました。なお、8名の新役員は次のとおりです。(以下、敬称略)

会長…村瀬季代子(JF但馬 柴山)
副会長…木下真由美(JF但馬 津居山)
川越三三(JF浜坂)
理事…木下博美(JF但馬 津居山)
山中千エミ(JF但馬 香住)
中村裕江(JF浜坂)

監事…植田美智代(JF但馬 香住)
宮本あや子(JF但馬 柴山)

総会終了後の研修会では、香美町役場健康課管理栄養士 竹中 涼子氏を講師に迎え「食事の栄養バランス・献立の立て方」をテーマに、栄養バランスのよい食事を摂ることの大切さと献立を立てる際の4つのポイント(①味に変化をつける ②彩りに気を付ける ③調理方法が重ならないようにするための油を控える工夫 ④塩分の摂り過ぎに気を付ける)について分かり易く講義して頂きました。消費者に魚の栄養特性をPRし、また、料理方法に工夫を凝らし、おいしく食べるコツを知ることが有意義な研修内容でした。



次の世代にどう繋いでゆくか 播磨漁友会総会終わる

(一財)兵庫県水産振興基金

平成26年度事業報告及び収支決算額の承認など4議案を審議する一般社団法人播磨漁友会(井上仁会長、16会員)の総会が6月30日午後、姫路市内のホテルで開催されました。会員漁協の組合長と県及び系統団体の代表ら30名が出席しました。

開会に先立ち井上会長は「播磨の海は種々の可能性をもっているが新しいものにチャレンジする若い人がなかなかいない。今年はノリ、カキは何とかよかったが底曳きが依然低調だけに、これからの漁業やる人にどう繋いでゆか心配もある。数少ない会員だが、しっかりと手を繋いで漁業振興を図ってやってほしい」と挨拶。次いで、県水産課 小林 孝司課長が「漁場造成、落ち牡蠣対策、アサリ等種苗生産、瀬戸内法改正に向けてイカナゴと栄養塩の関係検討などに積極的に取り組みたい。さらに浜プランの具現化を図り、地域創生の一助に資したい」と挨拶され、続いてJF兵庫漁連 山田 隆義会長が、このたびの井上会長の叙勲は我が業界によい刺激をもたらすもので感謝していると祝意を述べたあと「漁友会とともに、我々も漁業者のために何ができるかを考え、若い人が漁業をやりたいというような社会を創りたい」と、それぞれが来賓祝辞を述べられた。総会は井上会長が議長を務め、上程された4議案は原案通り承認され閉会しました。また、席上、JF東二見 大西 賀雄組合長が新組合長として紹介され、新たに仲間入りされました。

平成27年度

兵庫県機船底曳網漁業協会通常総会

兵庫県機船底曳網漁業協会

7月1日(水)豊岡市城崎町のホテルにおいて、兵庫県機船底曳網漁業協会(49会員)の平成27年度通常総会が開催され、会員・行政・系統団体等から約50名の出席がありました。総会では、平成26年度事業報告・平成27年度事業計画など計5議案が原案通り承認されました。

本年度は、任期満了に伴う役員改選が行われ、会長に吉岡修一氏(再任・共進丸)、副会長に川越一男氏(再任・幸榮丸)が就任されました。吉岡会長は就任挨拶の中で、「力2の資源を守る為には韓国との問題の解決なくして我々の事業の進展はない。いろんな問題が山積しているが会員の皆様方のご協力を頂きながら邁進して行きたい」と決意を述べられました。

その他、但馬水産事務所高木所長から「ズワイガニ混獲回避漁具導入支援事業」の説明、全国底曳網漁業連合会富岡会長からは「当面する課題等への対応について」の話があり、皆真剣な表情で耳を傾けられています。9月からの操業安全と豊漁を祈念するばかりです。



淡路漁協

職員協議会

通常総会

淡路漁協職員協議会

淡路漁協職員協議会（会員106名）は、平成27年度通常総会を6月6日（土）、洲本市内で開き、会員と来賓約50人が出席しました。

議案審議に先立ち、田村 富弘会長（JF沼島）の主催者挨拶に続き、（一社）淡路水交会 東根 壽会長とJF兵庫漁連 突々 淳参事から来賓祝辞がありました。

東根会長は、「漁業情勢が厳しい状況の中で、職員には複数の業務に従事してもらっているが、新しい国の助成事業によって一層多忙になっている。しかし、それぞれの事業の実施によって、漁家の経営安定が実現する。頑張っていたください」と職員への期待を述べられました。突々参事は、「今期ノリは好調だった。コンビ二用の商談も来ており、商品開発に取り組みたい。瀬戸内法の改正法は安

保法制の影響を受け、予断を許さないが、早期の成立を期待している。県下で不祥事が発生したこともあり、県とともに各組合に対する一斉点検を実施している。今後も適切な事務処理に努力してほしい」と呼びかけました。

4人に対する職員功労者表彰が行われた後、平成26年度の事業報告と貸借対照表、収支計算書などの決算、平成27年度の事業計画と予算等が審議され、3つの議案は原案どおり承認されました。

平成27年度 通常総会が開催されました

播磨地区漁協職員協議会

6月23日（火）、播磨地区漁協職員協議会（会員140名）の平成27年度通常総会が、播磨漁友会館において代議員26名全員（委任状9名含む）が出席し開催されました。開会にあたり藤田 次男会長（JF西一見）から「漁師が減少している中で、職員も削減されているが、一層連携を密にする必要がある。協議会の活動も工夫したい」との挨拶があり、続いて来賓を代表し、県姫路農林水産振興事務所 中岸 明彦所長補佐から「新船建造がほとんどなく、浜に行く機会が著しく減少している。不祥事もあったが、組合との関係維持の必要性を痛感している。」（一社）播磨漁友会 井上 仁会長から「朝早く、夜遅いという厳しい労働条件で、優秀な職員の確保が難しいが、将来に希望がない訳ではない。努力していると評価される組合を目指して共に頑張っていきたい。」JF兵庫漁連 突々 参事から「業界としてはTPP交渉が妥結すれば、水産庁、全漁連ともに大きな影響を受けると予測している。新規就労者の確保が大きな課題であるが、組合と系統が力をあわせて困難を乗り越えたい」との祝辞が述べられました。

議事は藤田会長が議長となり、1. 平成26年度事業報告、貸借対照表、損益計算書ならびに剰余金処分計算書、2. 平成27年度事業計画ならびに収支予算、3. 平成27年度会費賦課額ならびに徴収方法の3議案が審議され、いずれも原案どおり承認されました。

今年も恒例の親睦ボーリング大会とあわせ、同じ日に改修が終わった姫路城を見ながらピヤーガーデンでの懇親会を行うことが報告されました。播磨地区の漁協職員が結束し、円滑な漁協事業を通じて浜の活性化を図っていきます。



県立水産技術センター見学会・研究発表会のご案内

兵庫県立水産技術センター（明石市二見町南二見22-2）では、8月11日（火）に下記のとおり見学会及び研究発表会を開催します。多数のご来場をお待ちしています。

【見学会】9:30~12:00

水産のお話と施設見学ミニコース（10:30~ 1回限り。1時間）、顕微鏡による観察、魚拓づくり、煮干しの解体を実施します。

【研究発表会】14:00~16:15

オニオコゼの資源特性と資源管理、漂流魚発眼卵放流について、漁協青壮年部の取組み、漁協女性部の取組み、アサリの養殖について、最新の調査研究成果等が報告されます。

プログラムなど詳細は<http://www.hyogo-suigi.jp>のイベント情報、または当センター普及担当（078-941-8602）までお問い合わせください。

大輪田塾10周年記念式典を開催

(一財)兵庫県水産振興基金

これからの漁業を担っていける人材育成、つまり「浜のリーダー」の育成を目的に、平成17年10月に開設された大輪田塾（塾長…JF兵庫漁連 山田 隆義会長）は、今秋には設立10年を迎えます。これを記念した式典が7月4日（土）、神戸市内のホテルにおいて開催され、塾の修了生・在塾生のほか、県・系統団体の関係者ら約60名が集まり、10周年を祝いました。

冒頭の挨拶で、山田塾長は「修了生は各漁協などで活躍しているリーダーであり、今後、兵庫の漁業を背負っていく人たちである。しかし、兵庫の、真のリーダー」となるには、これまでの我々が経験してきたのと同様に、修了生に活躍の場やチャンスを与えられなければならぬ。大きな変革が求められる漁



懇親会で修了生から近況報告がありました



「真のリーダーにチャンスを」と山田塾長

このあと、記念式典前に行われた大輪田塾修了生によるOB会設立案が決議され、その席上、代表幹事に選任された第一期生 戎本裕明氏（JF明石浦代表理事組合長）から、OB会設立の宣言と報告があり、「修了した同期との、横の繋がりに加え、修了生間の、縦の繋がりをこの会でさらに深め、地域漁業の発展に寄与したい」と挨拶がありました。会場から大きな拍手が送られました。

式典に続き、当塾講師団顧問 田和正孝氏（関西学院大学教授）から「大輪田塾の10年、繋がり構築」として記念講演があり、設立当時からこれまでの経緯や、塾を介して拡

業界を担っていくリーダーを育てていくために今後も、県、系統団体の皆様のご指導ならびにご支援を賜りたい」とされました。続いて、来賓として出席した兵庫県農林水産局水産課 小林孝司課長は「今後も漁業者が安心して操業していくためには、将来を見据えたいリーダーが必要である。県としてはこれからも出来るだけの支援をしていく」と祝辞を述べられました。

がっていく活動などについて振り返りつつ、これまでの大輪田塾を総括されました。

式典終了後の懇親会では、修了生らが久しぶりに会う同期やお世話になった県職員らとの話が弾み、会場は終始和やかな雰囲気になりました。



参加者全員による記念撮影

視察研修会を開催

大輪田塾傍聴と古野電気三木工場へ

摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会

摂津播磨地区漁協青壮年部連合会（大西 正起会長・JF伊保）は6月23日（火）24日（水）の両日、視察研修会を開催し、同部員をはじめ系統団体職員など約40名が参加しました。

本年度は昨年同様、県内で行いました。23日は水産会館で開講された大輪田塾10周年記念講座を傍聴し、24日は三木市にある古野電気(株)三木工場を訪れ、船用リーダーや魚群探知機の製造現場を視察しました。

23日の大輪田塾は「JAを取り巻く環境と農協改革」（講師：JA兵庫中央会 浜田 充専務）、「実践版 効果の上がる魚食普及」（講師：(株)ウエカツ水産 上田 勝彦代表）の2講義を聴くこ



上田講師による講義を傍聴しました



古野電気(株)三木工場で研修

とが出来ました。ここでは大輪田塾の雰囲気を感じながら、協同組合の仲間であるJAについて知見を深めることができ、魚食普及では今後の活動の新たなヒントを得ることが出来ました。（11頁「大輪田塾だより」にも同じ講義の内容を掲載しています）

翌24日の古野電気(株)三木工場では、4班に分かれ、複数の作業棟を見て廻りました。普段の操業で利用しているものから大型船舶用のものまでの製造工程や商品検査の現場を間近で見ることが出来ました。また、A・I・Sによる事故防止についても説明があり、充実した研修となりました。

サワラ稚魚の育成現場を視察

（一財）兵庫県水産振興基金



香川県高松市にある国立研究開発法人水産総合技術センター 瀬戸内海区水産研究所屋島庁舎ではサワラ資源の維持増大に向けて、3年前から瀬戸内海海域栽培漁業推進協議会と共同で種苗生産を行っています。ここでは、兵庫、大阪などの各府県から協力のため職員が派遣され、朝早くから夜遅くまで、大食漢のサワラのために職員・パートの方々が交代で餌を与えています。6月1日（月）にはJF五色町から福島 富秋組合長、JF明石浦 戎谷和道理事をはじめとする両JFの漁業者や漁協職員ら8名が同庁舎を訪れ、種苗生産の様子を見学しました。

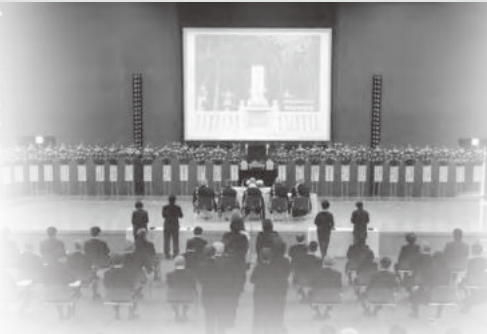
まず、サワラについての知識を高めるため、同庁舎増養殖部 閉鎖循環システムグループ 山本 義久グループ長から、種類や日本近海の分布状況、日本海での資源状況などについて詳しい説明がありました。カタクチイワシの産卵時期とサワラの産卵時期の関係や、サワラが産卵時に元の海域に戻ってくるのではといった興味深い話があり、参加者は真剣に耳を傾けていました。続いて、種苗生産現場へ出向き、実際に餌を与える作業を見学しました。解凍したイカナゴを小さく潰して水槽へ入れると、サワラの稚魚が元気よく食べる姿を見ることが出来ました。その他、トラフグの実験水槽なども見学でき、充実した視察となりました。



第40回

兵庫県漁民物故者合同供養祭開催

JF兵庫漁連



今年で40回目となる兵庫県漁民物故者合同供養祭（主催・JF兵庫漁連）が、6月11日（木）和歌山県の高野山大学松下講堂並びに慰霊塔前において厳かに執り行われました。

会場には県内漁業関係者ら217名が参列し、開会にあたり遺族代表の本多伸弘さん（JF神戸市）の手で、平成26年度中に物故された140柱の芳名簿が祭壇に奉納されました。主催者代表として挨拶に立ったJF兵庫漁連 山田隆義会長は「本県が全国有数の水産県として今日あるのは、ここに合祀されておられますご尊霊のご努力の賜物であり、在りし日の輝かしき業績に対し深く敬意を表します。残る我々は力を合わせて豊かな漁場を取り戻し、次世代に引き継ぐことを誓います。」とされ、続いて来賓を代表して兵庫県知事（県農林水産局水産課 小林孝司 課長 代読）、JF全漁連 岸 宏会長から追悼の言葉をいただきました。その後、読経の流れるなか、主催者、ご遺族、来賓、一般参列者の順に焼香が行われ、JF兵庫女性連 井上二三枝副会長から全参列者に御礼が述べられ、供養祭は厳粛のうちに滞りなく終了しました。

これまでに合祀されたご尊霊は今回の140柱を含めて12、101柱となりました。心からご冥福をお祈りいたします。

シートクラブに

淡路島の生シラスが登場！

JF兵庫漁連 広報部

6月24日（水）、JF兵庫漁連 SEAT-CLUBでは、JF淡路島岩屋 岸本 保氏を講師に迎え、旬の魚を楽しむ教室「生シラス」を開催しました。

教室では、岸本氏より「淡路島の生シラス」と他県の生シラスとの違いや、漁獲された生シラスの中から厳選されたものだけが、淡路島の生シラスとされ、すべて手作業でパック詰め、冷凍された後、飲食店で提供される際の解凍方法にまでこだわって提供されていることを学びました。その後、鯛・スズキ・タコの刺身をあしらった生シラス丼、生シラスのサラダという素材の味を味わえる2品を作りました。参加者は、普段は淡

路島でしか食べることのできない生シラスを、明石で味わうという貴重な機会を楽しみつつ、そのこだわりが美味しさにつながっていることを体感し、改めて感動していました。

「淡路島の生シラス」は同JFと一般社団法人 北淡路ブランド推進協議会が普及に取り組んでいるもので、JF全漁連のプライドフィッシュにも登録されています。このことを知っている参加者からは「兵庫には瀬戸内海も日本海も沢山おいしい魚が獲れるのだから、もっとたくさん魚をブランドフィッシュにしたい」といけな



淡路島の生シラスについて説明する岸本氏



明石でも味わうことができました！

SEAT-CLUBでは、今後このような兵庫の魚のおいしさや、楽しさを消費者へPRし魚食文化が継承され兵庫の魚の消費を拡大していく取り組みを企画していきます。

「西播磨フードセレクション 2015」開催！参加食品募集中！！

兵庫県西播磨県民局では、西播磨地域の個性ある加工食品を応援するためのコンテスト「西播磨フードセレクション 2015」を開催し、参加食品を募集しています。

応募期間は平成27年7月31日（金）まで。

応募の条件・方法など詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【お問合せ先】

西播磨フードセレクション実行委員会事務局
（西播磨県民局農政振興第1課）

TEL：0791-58-2194 担当：小河・広瀬



大輪田塾だより

必修単位「水協法」と10周年記念講座を開講

6月の大輪田塾は、水産会館にて9日（火）、23日（火）の2回開講しました。

9日（火）は「水協法概要」で県水産課漁政班望月松寿班長と都倉由樹主査を講師に迎えました。望月班長は、協同組合について歴史や特徴、現在抱える問題などを中心に、都倉主査からは同法の条文について詳しく講義がありました。望月班長は「漁協として役員・組合員・職員がもう一度協同組合の利点を発揮できるよう、ガッツリとスクラムを組む必要がある」と話され、塾生は真

剣な眼差して聞き入っていました。

23日は大輪田塾10周年記念事業の一環で講義を行いました。第1は、「JAを取



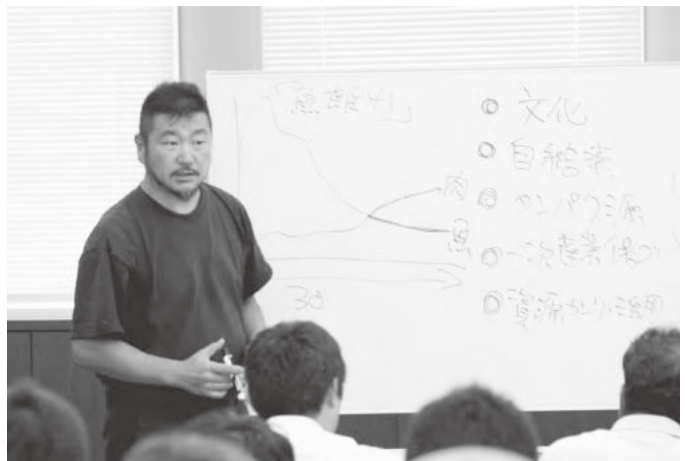
「水協法概要」の講義風景

り巻く環境と農協改革」と題してJA兵庫中央会浜田充専務から、第2は、「実践版効果の上がる魚食普及」として株式会社水産上田勝彦代表から講義がありました。当日は在塾生とともに多くの修了生が受講したほか、摂津播磨地区漁協青壮年部連合会の皆さんも研修会として参加したため、会場には70名をこえる受講者が集まりました。浜田専務は、全国や兵庫におけるJAの状況や、大きく報道された農協法改革の経緯と背景についても講義をされ、「TPPや農協改革など外部の変化に惑わされず、組合員や農協の将来を見据えて対応することが大事」と締めくくられました。

上田代表は、これまでの魚食普及活動が消費者には届かなかつたとされ、その原因を分析し、レシピよりもどうすれば美味しくできるかという魚料理の仕組みを伝えることの大切さを力説されました。また、「浜から目線は止めよう」と漁業者側



JA関係者として初めて登壇された浜田専務



上田代表の講義風景

の料理法を押し付けないことや、誰にどうなってほしいのかというコンセプトを持ち、その効果を確かめることが必要」と魚食普及活動へのヒントを話されました。どちらの講義も塾生から質問があり、講師とのやり取りの様子など、大輪田塾を肌で感じてもらった漁青連の皆さんから、将来の入塾生となる人が出てくることを期待したいです。

【今後の大輪田塾の予定】

7月28日（火）～29日（水）

「平成27年度大輪田塾宿泊研修」（滋賀県）

8月25日（火）

平成27年度大輪田塾修了論文発表会

（水産会館）

全国海難防止強調運動 (7/16~31)はじまる!



重点事項1 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進

海の事故で一番多いのが衝突、その主な原因は「見張り不十分」や「不適切な操縦」です。

① 常時適切な見張りの徹底
「前後り運転」や自動操縦任せで見張りをおろそかにせず、常時適切な見張りを行いましょう。

② 船舶間コミュニケーションの促進
早期に船舶間のコミュニケーションを取り、相手船の動きを把握することで、適切な操縦を行いましょう。

- 早めに相手船に付かり、やさしい動作をとり
- 国際 VHF や汽笛信号などを活用する
- AIS 情報の活用と正しい情報の入力

なんととっても見張りが重要です!!

重点事項2 プレジャーボートの発航前点検の徹底

「発航前点検をしっかりと!!」

プレジャーボートによる事故は全体の4割以上、特にエンジントラブルによるものが増えています。

- 燃料
- エンジンオイル
- バッテリー電圧
- 冷却水 など

の発航前点検を徹底に行いましょう。

海の事故ゼロ キャンペーン

海難^①への願い

重点事項3 ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保

万が一海に転落した場合、海上に浮くの速やかさが救助要請という点で必要不可欠です。

1 転落時の適切な応急処置
2 適切な浮力の確保
3 海の緊急通報

海の上保安庁へのお問い合わせは、最寄りの官署へ

第一 地区	海上保安本部 (総 署)	電話 03-34-27-0118
第二 地区	海上保安本部 (横 濱)	電話 022-262-0111
第三 地区	海上保安本部 (船 橋)	電話 045-211-1118
第四 地区	海上保安本部 (名古屋)	電話 022-661-1611
第五 地区	海上保安本部 (神 戸)	電話 078-291-4551
第六 地区	海上保安本部 (京 都)	電話 082-231-3111
第七 地区	海上保安本部 (北九州)	電話 093-221-2531
第八 地区	海上保安本部 (熊 倉)	電話 0773-76-4100
第九 地区	海上保安本部 (新 潟)	電話 025-285-0118
第十 地区	海上保安本部 (徳島)	電話 089-240-8800
第十一 地区	海上保安本部 (高 松)	電話 086-667-0118

JAPAN COAST GUARD

海の事故ゼロ キャンペーン

海では安全が一番大事
海難事故ゼロを目指そう!!
2015年度 全国海難防止
大河内 南子

2015 7/16・31
全国海難防止強調運動
海難^①への願い

海難事故をなくそう!

ライフジャケットを着よう!

暑い夏がやってきました。
暑くてもライフジャケットは着用してください。
従来のものより涼しい製品も出ています。



ハイブリッド式
ライフジャケット
(固型・膨張式併用)
モデル:
兵庫県水産課
漁業管理担当
峰 浩司主査

~安全をサポート~ 浮力合羽はお持ちですか?

JF兵庫漁連が開発したもので、浮力は十分あります。
※国土交通省の型式承認試験基準に合格したものではありませんので、一人乗りの漁船の場合、ライフジャケットを着用してください。



浮きますよ!!

モデル:
JF兵庫信漁連
業務課
仲畑 恵さん

ライフジャケット・浮力合羽の購入は
所属JFかJF兵庫漁連資材部(078-942-9272)までお問い合わせください

手軽に「旨み」と 「こく」を味わう

～丹波黒豆茶発売～

JAハリマ

JAハリマは、宍粟市産の丹波黒大豆を使用したペットボトルの「丹波黒豆茶」を商品化し、販売を開始しました。粒のまま高温焙煎することで、うま味とこくを引き出した香ばしい黒豆茶に仕上がりました。同JAの新たな特産品として、地産地消につなげたいと考えています。

原料となる丹波黒大豆は、栽培に欠かせない昼夜の気温差と、清流が流れる肥沃な土地を生かして栽培された地元産のものを100%使用。丹波黒大豆の煮豆「まめ自慢」に続く商品として期待されています。



発売されたペットボトルの丹波黒豆茶

JA担当者は、「奥播磨で育んだ素朴な風味を味わってほしい」と話しています。

定価は1本(350ml)145円(税込み)。JAハリマ農産物直売所、管内の各Aコープ店で販売されています。



<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

米粉を使った 美味しいパン工房

生活協同組合連合会コープ自然派事業連合では、兵庫県豊岡市の産直米「コウノトリ育むお米」の米粉をパンに使用することで、農水省の第六次産業の助成対象として認められ、2014年2月「パン工房」建設に着工。同年6月に完成し、生産をしています。

コンセプトは、国産原料(一部国外のオーガニック原料)を使用。添加物を用いず、すべてのパンに米粉を使用して、手作りにこだわったパンを製造しています。また、リーズナブルな価格で、焼成の翌日に組合員にお届けしています。

昨年度の供給実績は82,691千円(税抜)
368,000食

今後も組合員の要望に応じて新規商品の開発に力を注いでいきます。

商品ラインナップ

- ・食事パン 山食パンなど、約十品目
- ・ハード系 ライ麦パンなど、二品目
- ・菓子パン系 シュトーレンなど、約五品目
- ・その他 新じゃがバターベーコンなど、二品目

とくに、もちりした食感の山食パンが好評で、供給の五割を占めています。



<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



旬に想う

写真と文
遊方子

熱帯果樹の魅力

◆ 完熟マンゴーを、タネに沿って3枚におろすと果汁が滴り香りが漂う。何ともいぬ甘い香りをしてる。此の果実にはビタミンCが豊富に含まれ、ビタミンAも完熟と共に増えるという。追熟型の果実だからリンゴ等のエチレンガスを使い、やや軟らかくなった頃が美味しいが、冷蔵庫に入れるのは禁物である。ウルシ科の植物だから、過敏な人はかぶれを起こすし、食べると食道あたりにイガイガした感じが残る。唇は果肉が触れると発疹が出来るよりも、食べ過ぎるのも要注意だ。

◆ 今一つの王がドリアンで、その匂いには魔物的なものがある。シンガポールで食べたが、甘く南国の味が感じられたが、匂いには好き嫌いがある。元気が出そうにも思えるものだった。ウリ科のキウワノという果実苗を菜園に植えてみたら、秋にマクワウリ大の果実が二十数個も出来た。黄色く熟したのを半分は割り、スプーンで掏って食べたが、甘くも酸っぱくも無く淡泊すぎる味だった。奇異なのはドリアンのように舌に刺さる味は痛くて困った。温帯の植物に馴れた眼には、熱帯植物はどれも不思議さに満ちて魅力満点なように思う。

◆ ホームセンターの観葉植物コーナーで小さなコーヒーの木を買った。豆から芽生えたばかりが可愛く、窓際に置いて可憐さを楽しむつもりが、意外に生長が早く、直ぐ一対の本葉が出て、今は七対の無作法なほど大きい葉をつけている。小さなままでも願うのは、人間の身勝手からだ。可憐さが勇壮さに変わり、窓辺を青々と彩ってくれてはいる。コーヒーの赤い実は甘く美味しく、栽培地では幾らでも食べさせて貰えるらしい。但し食べた後のタネ(豆)は必ず返す。この豆を焙煎すれば、香りの良い飲み物になる。ずっと以前、中之島にあった水産会館管理室でコーヒーの鉢植えに花が咲いていたのを思い出している。

◆ ビタヤはドラゴンフルーツとも呼ばれ、果肉は紫や赤や白と種々ある。ベトナム東南部で栽培のビタヤは白色系で、沖繩へも導入されているという。白いゼリーに黒胡麻を振ったような姿で、便秘解消の特効薬になるそう。サボテン科に属し夜間に花開き、翌日に太陽が出る頃に萎れて仕舞う。日中は気孔を閉じ水分の減少を防ぎ、気温が低下し湿度が高くなる夜に気孔を開け二酸化炭素を取り入れるという。この性質により、ビタヤは乾燥に耐えられる。熱帯果実を食べた後は、タネを鉢にまく。今、マンゴーとアボガドが芽生えている。

大輪田塾 第11期生 募集しています。

平成17年に開講された「大輪田塾」。

めまぐるしく変化する社会・経済情勢に対応し、将来にはJF組織を支えていける人材育成を目的に始まり、すでに修了生は地域のリーダーとして活躍されています。

講義は、県・系統団体をはじめ多彩な講師陣による月1回の座学を中心に、外部研修や事務局が適当と認めた会議等も聴講できるといった幅広い知識の習得が可能なカリキュラムを組んでいます。

この「大輪田塾」では現在、10月に入塾される第11期生を募集しています。

皆様のご応募をお待ちしております。

◎応募資格

①原則として、漁業歴 10年以上かつ45歳未満

②原則として、JF関係役員職歴 10年以上かつ45歳未満

のいずれかに該当する者で、所属する組織代表者の推薦を受けた者

◎在籍年限

原則 2年 (最長 3年)



「実践版 効果の上がる魚食普及」
(ウエカツ水産 上田 勝彦氏)



「水産物の集約販売について〜のり共販から学ぶ」
(JF兵庫漁連のり海藻事業本部)

募集は8月末に締切、その後、面談を行い運営委員会の選考を経て、10月に入塾式を行います。

詳しくは大輪田塾事務局まで。

(募集要領・願書などの書類は各JF・系統団体宛にお送りしています。)

問合せ先 (事務局) (一財)兵庫県水産振興基金 大輪田塾事務局

〒673-0883 明石市中崎1丁目2-3 TEL 078-919-1331